

日	月	火	水	木	金	土
2019	4					
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8			1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

10		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2020	1					1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3						1
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

～5/6(月・休)

特別展 近代美人画の精華  
—培広庵コレクションによる—

培広庵は近代美人画コレクションで名高く、特に上村松園や北野恒富などの大正・昭和期の関西画壇を代表する作家の作品には、非常に質の高いものがそろっています。本展では、培広庵コレクションの中から、美人画の名品を紹介します。



渡辺幾春(春の野)培広庵所蔵

展示替のため休館 5月7日(火)～5月10日(金)

5/11(土)～6/30(日)

館藏品展 巨匠が残した万葉日本画～響きあうことばと絵画～

万葉文化館は2001年(平成13年)9月に、当時著名な日本画家が制作した「万葉日本画」を主要な館藏品として開館しました。画家が万葉集を読み込み独自に解釈して制作した「万葉日本画」は、日本の古典に対する画家の思いが込められた作品と言えるでしょう。本展覧会では、「万葉日本画」の制作に際して画家の残した言葉を紹介することで、「万葉日本画」に込められた画家の思いをたどりま。



中路融人(比良連峰)

展示替のため休館 7月1日(月)～7月5日(金) 7月11日(木)～7月12日(金)

7/13(土)～9/23(月・祝)

特別展 マンガで語る古代大和Ⅱ  
里中満智子『天上の虹』にみる  
持続天皇誕生の物語

昨年、当館で開催した「マンガで語る古代大和」では、里中満智子『天上の虹』(全23巻)より、冒頭の大化の改新から我が国の古代最大の内乱とされる壬申の乱までの1巻から7巻を中心とした原稿と、関連資料をご紹介します。今回はその第二弾として、『天上の虹』8巻から13巻を中心に、壬申の乱が終わり天武天皇の治世が始まってからの、主人公 鸕野讃良皇女(後の持統天皇)の物語を里中先生の原稿に沿って辿ります。



©里中満智子『天上の虹』より

展示替のため休館 9月24日(火)～9月27日(金)

9/28(土)～11/17(日)

特別展 棟方志功の福光時代 信仰と美の出会い

終戦間際の昭和20年4月、棟方志功一家は戦火を避けて富山県福光町に疎開し、昭和26年11月まで6年8ヶ月間を過ごします。この在住期間は棟方42歳から48歳までの最も充実した時代でした。本展はそうした棟方志功の福光時代に焦点を当て、「火の願ひ板画欄」「運命頌板画欄」、奇跡的に戦火を逃れた「釈迦十大弟子」などの板画作品を主軸とし、この時代に花開いた倭画や書の銘品、書簡等の資料、包装紙や装画本等のデザインまで含めて、棟方志功の藝業を多角的に紹介します。



棟方志功『鐘漢頌』全24点のうち『朝菊』雪楽舎美術館寄託



棟方志功『鐘漢頌』全24点のうち『俊桜』雪楽舎美術館寄託

展示替のため休館 11月18日(月)～11月22日(金)

11/23(土・祝)～1/26(日)

特別展 全国一の宮展  
～西田眞人がえがく一の宮の世界～(仮称)

一の宮とは、地域の中で最も社格の高いとされる神社であり、大神神社などがそれに当たります。本展覧会では、日本画家・西田眞人氏の描いた一の宮の風景と地元大神神社の宝物を紹介します。



西田眞人(大神神社)(写生) 2012年 敬愛まちづくり財団所蔵

年末年始のため休館 12月28日(土)～1月4日(土)

展示替のため休館 1月27日(月)～1月31日(金) 2月6日(木)～2月7日(金)

2/8(土)～

館藏品展 万葉コレクション展

本展では、館藏品「万葉日本画」は勿論、今までに当館へ寄贈いただいた日本画・洋画といった絵画作品に加えて、素描や下図なども併せてご紹介いたします。



鳥頭尾精(蘇る朱雀)



三輪見勢(黄色い実)

にぎわいフェスタ万葉 春

4月～5月 休館

にぎわいフェスタ万葉 夏

6月～7月 休館

にぎわいフェスタ万葉 秋

7月～8月 休館

にぎわいフェスタ万葉 冬

10月～11月 休館

12月～1月 休館

れんぎょう  
そめいよしの  
おおしまざくら  
やまざくら  
さとざくら(八重桜)  
いかりそう  
まつばぎく  
どうだんつつじ  
やまつつじ  
こでまり  
やまぶき  
しやが  
ひめうつぎ  
ひらどつつじ  
やぶうつぎ  
ばいかうつぎ  
おおべにうつぎ  
やまぼうし  
えごのき  
うつぎ  
すいかずら  
こむらざき  
かわらなでしこ  
さざうつぎ  
さきゆり



やぶつばき



さとざくら



あけぼのあせび



やまぶき



こでまり



おおべにうつぎ



ききょう



かしわばあじさい



やぶかんぞう



さるすべり



はぎ



ひがなばな



つわぶき



どうだんつつじ



いそぎく



さざんか



ろうばい



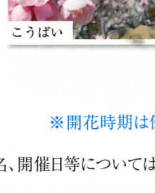
雪景色



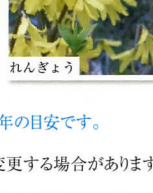
すいせん



しだれうめ



こうばい



れんぎょう

※開花時期は例年の目安です。

行事名、開催日等については変更する場合があります。





Facebookもチェック

http://www.manyo.jp

FAX 0744-54-1852

TEL 0744-54-1850 (代)

〒634-0103 奈良県高市郡明日香村飛鳥1-0

# 奈良県立万葉文化館



(2019.4.1~2020.3.31)



## 2019年度 展覧会・行事のご案内

### ご利用案内

- 開館時間 / 10:00~17:30(入館は17:00まで)
- 休館日 / 毎週月曜日  
(月曜日が祝日の場合は翌平日)、  
展示替日、年末年始  
※くわしくは中面カレンダーをご覧ください。

入館無料 駐車場無料

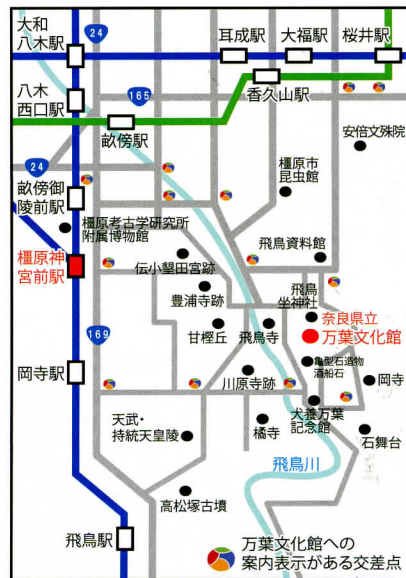
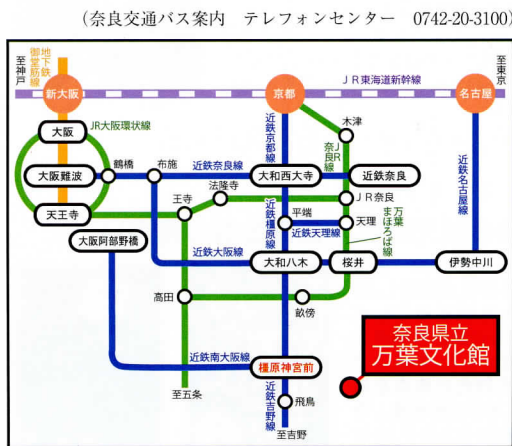
展覧会のみ観覧料が必要です。

	個人	団体 (20人以上)
一般	600円	480円
高校・大学生	500円	400円
小・中学生	300円	240円

- ※特別展開催中は、別途料金を設定します。
- ※教育旅行等、学校行事については無料です(要事前申請)
- ※その他割引制度についてはお問い合わせください。

### アクセスガイド

- 西名阪自動車道天理インター又は柏原インターから車で約40分
- 南阪奈道路葛城インターから車で30分
- 近鉄橿原神宮前駅東口・飛鳥駅よりバス(約20分)  
近鉄橿原神宮前駅よりタクシー(約10分)



※くわしいアクセスは当館ホームページをご覧ください。http://www.manyo.jp

※ご参加には事前申込みが必要なお申し込みは、事前にお問合わせください。イベントなどの詳細は、順次ホームページで更新します。http://www.manyo.jp

当館研究員による講座です。

各回14:00~15:30 先着150名 申込不要 無料

**1月25日(土)、2月1日(土)、3月7日(土)**

万葉古代学講座

先着150名 申込不要 参加費(資料代含む)500円

**11月2日(土) 14:00~17:00 「聖なるメソジの東西」**

万葉古代学公開シンポジウム

当館研究員・同志社女子大学名誉教授の寺川真知夫氏による講座です。

隔月第2水曜日(5月のみ4水曜日)

**5月22日、7月10日、7月11日、11月13日、1月18日、3月11日**

参加費(資料代含む)1回300円

各回14:00~15:30 先着150名 申込不要

講座「日本書紀をよむ」

当館研究員が、万葉歌を順番に解説していきます。

毎月第3水曜日(11月のみ4水曜日)

**10月16日、11月27日、12月18日、1月15日、2月19日、3月18日、4月17日、5月15日、6月19日、7月17日、8月21日、9月18日、10月16日、11月27日、12月18日、1月15日、2月19日、3月18日**

各回14:00~15:30 先着150名 申込不要 無料

講座「万葉集をよむ」(テーマ:「万葉集」巻五)

学会員によるギャラリートーク

展覧会開催期間の豊初の日曜日

※展覧会のご案内は中面をご覧ください。

※展覧会スタッフが一緒に観覧しながら、展覧会の見どころを紹介。

この他にも、展覧会に関連した講演会も開催予定です。

一般展示室

万葉の世界を体感できる「動」の展示空間

人形と映像による歌劇「額田王」や「柿本人麻呂」など、景観を万葉の世界へ誘います。

特別展示室

万葉の時代を考古学の視点でみる

飛鳥池工房遺跡の発掘成果を展示

飛鳥池の文化財発掘調査で発見された、わが国最初の

鑄造貨幣とされる富本銭などを展示しています。

万葉図書・情報室

万葉集に関わるデータベース「万葉百科システム」による検索など、ご自由に閲覧いただけます。

1月上旬~3月上旬

寒い冬は万葉文化館でお正月の遊びや昔の遊び体験で楽しもう!

4月上旬~6月上旬

春うらら、コトシツクイナクや土日を中心に、音楽イベントや講演会などを開催します!

7月中旬~8月下旬

万葉子ども教室や巨大迷路など、お子様や、ご家族連れで楽しめるイベント盛りだくさん!

9月中旬~11月下旬

音楽イベント、富本銭づくり体験、万葉衣裳の試着体験、講演会など、参加体験メニューがそろっています!

1月上旬~3月上旬

万葉文化館で楽しむ!!

「にきわいワエス万葉」開催

### イベントのご案内